

会議録様式

審議会名	令和5年度第3回杉戸町立図書館協議会
開催日時	令和6年3月19日(火) 午後2時00分～4時00分
開催場所	杉戸町生涯学習センター 集会室1、2
会議の議題	(1) 令和5年度 杉戸町立図書館サービス計画報告について (2) 令和6年1月～2月の運営報告について (3) カルスタすぎとの運営方法について(図書館) (4) その他
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ 非公開(公開の場合傍聴者数5名) (非公開の場合理由)
出席委員氏名 (敬称略)	正司 顯好、小山 裕之、千葉 耕平、塩川 敬子、寺崎 恵子 濱田 幸子、齋藤 伸夫
審議の概要	<p>1 審議事項</p> <p>(1) 令和5年度 杉戸町立図書館サービス計画報告について (2) 令和6年1月～2月の運営報告について (3) カルスタすぎとの運営方法について(図書館) (4) その他</p> <p>2 審議の概要</p> <p>(1) 令和5年度 杉戸町立図書館サービス計画の報告について</p> <p>委員)図書館のホームページにたどり着けない、分かりづらいという意見がある。</p> <p>事務局)公開したばかりであるため、Google や Yahoo 等の検索上位に上がるまである程度時間がかかる。検索数が増えるにしたがって検索しやすくなると考えている。 ホームページはパソコンとスマートフォンで見ると画像の見え方がそれぞれ異なる場合が多い。こちらでも確認し、修正しているが、気づいた際に教えて頂けるとありがたい。</p> <p>委員)ホームページを活用して、読書バリアフリー法等など特集を掲載するなど活用してもいいのではないか。</p> <p>事務局)2～3月はイベントが多かったため、その掲載となったが、スライド部分を活用して特集展示等を行ってもいいのではないかという意見があった。今後検討していく。</p>

【利用者アンケートの報告について】

委員)利用者アンケートについて、昨年度と比べるとレファレンスを知っている人の割合が増えているが、何か周知を行ったのか。

事務局)広報の裏面に図書館レファレンス等の図書館サービスの周知を行った。しかし、裏面であったこともあり、周知としての効果は弱く、もっと検討しなくてはならないと実務担当より意見が出ている。今後はホームページやポスターを活用していくことを考えている。

委員)動画やYouTubeを活用することは考えていないのか。

事務局)動画等はインパクトがあることから、周知の手段の一つとして検討していく。

委員)CD、DVDの充実について、ネット環境の変化からこれら資料を見ることのハードルは下がって見やすくなっていると考えている。図書館にはレンタルやダウンロードにないようなドキュメンタリーやノンフィクションの収集をしてもらいたい。

事務局)県からも、レンタルできない学術的な視聴覚資料の収集の重要性を研修等において言われている。単価が高いため一気には揃えられないが、引き続きそういった資料の収集に努めていく。

委員)新刊コーナーの位置が分かりにくい。正面に置くことはできないか。

事務局)バリアフリーや避難経路の動線の問題もあることから難しい。入り口付近に新刊が入った目印等を出すことなどで対応できないかと考えている。

委員)1年間の事業等が掲載された年間計画等を配布、掲載はできないか。

事務局)検討する。

(2) 令和6年1月～2月の運営報告について

【委員意見】

委員)学校図書室も学校の規模による違いはあるものの資料の充実を進めている。図書館でブックトークのような子どもが読んでみようかという気持ちを持ってもらう事業は非常にありがたい。年に1回～2回お願いしたい。

委員)難しいかもしれないが、学校図書室と町立図書館と連携して貸し出しできるようなシステムを考えていくと利用の促進につながるのではないか。

事務局)ご意見として参考にさせていただく。

委員)ブックトークで興味を持った本をすぐに読めるようにしているか。

事務局)ブックトークで使用した本やテーマに関係する図(30~40冊)は、ブックトーク後に学校へ1か月ほど貸し出している。

(3) カルスタすぎとの運営方法について(図書館)

【委員意見】

委員)一部の利用者のニーズに答えるのではなく、様々な年代の人の意見を反映させることが重要であると思う。

また、現状、図書館側の努力で維持されている部分も多いが、限られた人数、予算で維持し続ける負担や、その状況で将来的にも安定した運営が可能かも考えなくてはならないのではないか。

委員)現在の図書館の雰囲気や環境はとても良いと考えている。それが業務委託や指定管理で損なわれてしまうという不安があるならば、その声に対して、具体的な説明があるのならば安心ではないか。

委員)サービス計画を作成したメンバーであるが、杉戸町図書館サービス計画は分かりづらいと思う。あれでは業者は杉戸町の気持ちは分からないのではないか。

委員)職員不足や資格保有者の不足によるサービスの質低下、町の図書館に対する理解や文化活動支援不足を強く感じている。そのことについて、町はどのように風にかけているか聞きたいと思っている。

委員)宮代町立図書館の視察において、行政側の図書館への考え方やビジョンがしっかりしている事がよく分かった。だからこそ、指定管理者もそれに応え、かつレベルアップをしている。予算によって変わってくるところもあると思うので、なかなか判断がつかない部分もある。もっと情報が欲しいので、杉戸と似たような他市町村の施設を実際見に行き参考としたい。

事務局)ビジョンについては、図書館サービス計画の3つの基本方針に基づいて図書館を作っていくということになる。

委員)図書館と生涯学習センターは別々の業者が管理しなくてはならないのか。

事務局)基本的には一つの仕様書の中に生涯学習センターと図書館の業務を受け持ってもらう業者を募集しようと考えている。1社で受け持ってもらうこともあるし、それぞれに特化した業者が複数で運営することある。

委員)指定管理業者に任せる業務水準書をどれだけしっかりとできるのかということが判断の要となるが、その部分についてどの

ように考えているのか。

事務局)仕様書については各業者がサービス計画を読み込んだ上でプレゼンを行い、採点方式によって業者の決定となる。

委員)予算をどれだけかけられるかという部分も大きいのではないかと。センターと図書館を一つの業者に任せることで金額的に違ってくるのか。より高度なことに水準を上げられるのではないかと。

事務局)複合施設の場合、それぞれの特化した複数の業者が管理しているケースが多い。仕様書については、予算の上限はあるものの、皆様からの意見を取りまとめて、参考にして作成する。

委員)金額の資料 ABC を出してもらったが、わからない。住民は安い図書館ではなくいい図書館を求めている。金額ではなく中身を比べたい。これらの金額は業務内容等を提示して取った見積りなのか。また見積もりは何社からとったのか。

事務局)A と B は同じである。C については、センター側の課題として事業や学びの場が少ないことからこの部分を強化している。人数については増えているが、仕様が定まっていないことから暫定的な見積もりとなることをご理解いただきたい。見積もりは 1 社からとなる。

委員)見積もりに町の職員 3 名とあるがどういう業務となるか。

事務局)他の業務と並行しながら図書館指定管理者のモニタリングを行う。現在も月に 1 回定例会を行っている。

委員)現在、センター所長、図書館長、公民館長が兼任となっているが、指定管理となった場合、センター長、図書館長は指定管理者がなると思うが、仮に 26 名の人数を揃えたら、3 名引かれることとなるのか。

事務局)人数については、こちらで仕様書を作成し、何人で運営するかということは業者のノウハウの部分となる。こちらで何人用意するという指示は、派遣依頼となるため出せない。

委員)現在、センターの窓口をしている大平ビル管理は何人で業務を請け負っているのか。

事務局)清掃も含め 21 名である。

委員)最終的には政策会議で決定との事だが、タイムスケジュールはどのようになっているのか。

事務局)前回 1 月、今回 3 月、5 月にまた協議会を予定している。その 2 ヶ月後、7 月に答申をいただけるような形が望ましいと考えている。7 月の協議会に答申を貰い、その後に全員協議会と教育委員会会議にも報告となる。8 月に教育委員会会議、全員協議会で、10 月にも教育委員会会議、議会、11 月にパブリックコメント、12 月に政策会議予定となる。状況によって少し遅くなる。

委員)金額面での概算書はあるが、細かい内容は分からないため、仕様書を早く見ることはできないか。

事務局)仕様書については競争の公平性が保たれないことから、事前に公表はできない。仕様書を作成するにあたって、皆様の意見等は積極的に出していただきたい。

委員)町として、図書館、教育委員会、で意思統一はされているのか。

事務局)運営方法については、意思統一というような決定はされていない。今回の資料はあくまで概算でありサービス内容等細かくは定めていない。

委員)宮代町立図書館は基本理念に「知の拠点としてまちづくりの原動力となる情報を提供し続ける」という書き方をしている。杉戸町はこの部分が弱く、サービス提供にとどまっている。他市町村を参考に、利用者ニーズやまちづくりへの貢献、専門性の高い人材の確保・育成など数値にとらわれない指標を掲げて図書館のビジョンを明確にし、センターと図書館をまちづくりにおいてどのような位置づけにするのか、杉戸町の図書館としての持ち味をどう活かしていくのか早急に検討する必要があるのではないか。

事務局)町として図書館をどう考えているのかということについて、町の総合振興計画では、図書館等を学びの拠点としている。現状、図書館、センターのポテンシャルを活かしきれているとは言えない状況である。そういった部分を補完する形での答申を頂ければと考えている。

委員)西公民館を分室化したいという意見について、ある程度具体的に考えていることはあるのか。

事務局)個人的な案として出したものであるため、決定ではないが協議会で意見があれば検討の一つとして考えたい。西公民館は住宅街にあり、定期的なおはなし会等も開催され環境が整っていることから新刊を並べる等は検討している。

委員)西公民館の分室化等サービスの向上は指定管理でなくともできるのではないかと。委託でも可能ではないか。

事務局)指定管理でなくとも可能であるかもしれないが、提示した見積もりよりも上がることとなる。

委員)現在は館長が一部の公民館の分室化を考えているが、次の館長がどう考えるかを懸念している。

事務局)分室化について、もし指定管理者となった場合、仕様書にサービスレベル等を事細かく書いていく予定である。

(4) その他

委員) 今後の審議の参考とするため、茨城県守谷図書館の見学を提案したい。

事務局) 検討し、調整する。